

平成28年度

新潟大学工学部
推薦入試学生募集要項

新潟大学

◎新潟大学工学部推薦入試日程

入 試 種 別	推薦入試 (A) 及び (C)	推薦入試 (B)
出 願 期 間 ※ 郵 送 の み	11月2日(月)～11月5日(木) (必着)	
受 験 票 発 送 日	11月11日(水)	
選 抜 期 日	11月28日(土)・11月29日(日) ※いずれか1日	
合 格 発 表 日	12月11日(金)	2月8日(月)
入 学 手 続 期 間	平成28年2月16日(火)・17日(水)	
入 学 式	平成28年4月5日(火)	

◇不測の事態等が発生した場合の諸連絡

不測の事態等により、本募集要項の内容に変更が生じた場合には、次のホームページ上にて周知しますので、出願前や受験前は特に注意願います。

○新潟大学工学部ホームページ

<http://www.eng.niigata-u.ac.jp/>

新潟大学志願者への入学検定料免除について

新潟大学では、災害等の被災者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、入学検定料免除の特別措置を行います。

免除の対象となる災害及び被災地域など、免除に関する詳細については、本学ホームページをご覧ください。

新潟大学ホームページ：<http://www.niigata-u.ac.jp/>

平成29年度工学部入試の変更について

工学部では、平成29年度入試より入試方法を変更する予定です。

なお、入試変更の詳細については、工学部ホームページ (<http://www.eng.niigata-u.ac.jp/>) をご覧ください。

この募集要項の内容や、出願等について不明な点があるときは、下記に問い合わせてください。

【問い合わせ先】

新潟大学工学部学務係

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

電話 (025) 262-6709 FAX (025) 262-7010

メール gakumu@eng.niigata-u.ac.jp

推薦入試（C）の出願要件①に関する補足説明

推薦入試（C）の出願要件①は、

「SSHの指定を受けている高等学校または中等教育学校において、大学、官公庁及び企業等の研究機関において研究または実験を行ったことのある者（SSHカリキュラムを受講した者）」と定めています。

この度、高等学校から出願要件に関して照会がありましたので、補足説明をいたします。

上記の出願要件に該当する者は、

SSHカリキュラムを受講した者で、下記のいずれかもしくは両方を満たした者となります。

- ・「SSHの指定を受けている高等学校または中等教育学校において研究または実験を行ったことのある者」
- ・「大学、官公庁及び企業等の研究機関において研究または実験を行ったことのある者」

出願要件の表現に分かり難いところがありました。

今回の補足説明により、ご推薦いただきますようお願いいたします。

なお、出願要件に関してご不明な点がありましたら、工学部学務係までお問い合わせください。

新潟大学工学部学務係

電話：025-262-6709

FAX：025-262-7010

E-mail：gakumu@eng.niigata-u.ac.jp

目 次

I	工学部入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）等	1
II	実施学科，入試種別及び募集人員	6
III	出願要件	7
IV	出願手続	
1	出願期間	10
2	出願書類	10
3	出願書類提出先	14
4	出願書類の作成及び提出上の注意事項	14
V	選抜方法等	
1	選抜方法	15
2	配 点	15
3	口頭試問の内容	17
4	選抜期日等	18
5	試験場	18
6	受験に際しての注意事項	19
7	障がい等を有する入学志願者の事前相談	20
VI	選考結果の通知及び合格者の発表等	20
VII	入学手続等	21
VIII	入学者選抜に用いた個人情報の取扱い	22
IX	入試情報の開示	22
X	学生寮について	22
	大学入試センター試験受験教科・科目 自己確認票（推薦入試(B)）	23
	平成27年度 工学部推薦入試実施状況	24
	出願書類	25

I. 工学部入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）等

教育理念・目標

新潟大学工学部では、次のような素養を身につけた優秀な技術者・研究者を育成することを目標としています。

1. ものづくりをたいせつにする心
2. 豊かな創造力と柔軟な思考力
3. 自主性と高い倫理観に支えられた実践力

その実現のために、本学工学部では、工学の基礎をしっかりと学んだ上で、先端技術の開発に対応できる応用力を身につけることが可能な仕組みを準備しています。また、実践教育やキャリア教育を体験できる教育プログラムを設けているので、体験を通して自分の可能性を伸ばす業種を探することができます。

教育内容・特色

工学部附属の「工学力教育センター」と共同で、質が高く特色ある教育を展開しています。

- 自主的なものづくりプロジェクトを通じてものづくりの魅力や楽しさに触れ、「つくる力」と「学ぶ力」（この二つを合わせて「工学力」と呼んでいます）を習得するための教育を行っています（文部科学省から「特色ある大学教育支援プログラム」に採択されました）。
- 「知識の応用力」を効果的に身につけさせることを目的に、失敗を経験しながら新たな工学技術や研究開発へと導く教育を一年生から実施しています（文部科学省から「質の高い大学教育推進プログラム」に採択されました）。
- 企業と技術連携した実践的工学キャリア教育を行っています（文部科学省から「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」に採択されました）。
- 学生のチームが研究や技術開発に関する活動を行い、相互に啓発できる場「スマート・ドミトリー」プログラムを実施し、国際的に活躍できる秀でた学生「トップ・グラジュエイツ」を育成する教育を行っています。一年生から参加でき、高い研究能力が身につきます（文部科学省から「理数学生育成支援事業」に採択されました）。
- 従来の専門教育に加え、実践英語コース及び国際教養プログラムの提供や段階的海外留学の促進を行い、大学教育のグローバル化を推進しています（工学部を実施部局の1つとして、文部科学省から「グローバル人材育成推進事業」に採択されました）。
- 国際的に認定された教育プログラム（JABEE認定プログラム）や学部段階からの国際交流により、国際的に通用する高いレベルの学力が得られます。
- 高等学校や高等専門学校等でのさまざまな履修形態に配慮しつつ、大学院と教育・研究に関して強い連携を図り、毎年、多数の卒業生が大学院に進学しています。また、学科ごとの就職指導によって不況にも強い就職実績を上げています。

求める学生像

教育理念・目標にあげた三つの素養を身につけた技術者・研究者になりたいと思う皆さんの入学を歓迎します。具体的には、工学の基礎から先端技術に関する専門的知識の習得、および多様な知識の習得を目指す意欲と行動力を持った人の入学を希望します。

入学者選抜方針

各学科のアドミッション・ポリシーに基づき、人物・学業成績がともに優れ、工学の学習に熱意がある学生を選抜します。

アドミッション・ポリシー

機械システム工学科

■推薦入試（A）

- ・機械システム工学科への進学意欲の高い人を選抜します。
- ・面接では、数学、英語、及び専門科目の理解度と論理的思考力について評価します。

■推薦入試（B）

- ・機械システム工学科への進学意欲が高く、大学入試センター試験（5教科7科目）の成績及び在学時の学業成績が優秀な人を選抜します。
- ・面接（基礎学力に関する口頭試問は含まない）では、機械システム工学に対する熱意や意欲、及びコミュニケーション能力について評価します。

■推薦入試（C）

科学に対する高い関心、優れた科学的な思考力及び大学における勉学に必要な基礎学力をもち、勉学意欲、明確な志望動機、機械システム工学への関心を有する学生の入学を希望します。面接（数学に関する基礎的な学力を問う口頭試問と、出願要件①あるいは②に関する口頭試問を含む）及び出願書類を総合的に判断して、機械システム工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

電気電子工学科

■推薦入試（A）

高校で学んだ工業に関する専門分野（電気電子工学）の基礎知識、及び大学における勉学に必要な基礎学力を身につけ、勉学意欲、明確な志望動機、電気電子工学への高い関心をもつ人を選抜します。

面接（英語、電気電子工学の基礎学力に関する口頭試問を含む）及び出願書類を総合して、電気電子工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（B）

大学における勉学に必要な基礎学力を身につけ、勉学意欲、明確な志望動機、電気電子工学への関心をもつ人を選抜します。

大学入試センター試験では、5教科7科目の試験を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。また面接（基礎学力に関する口頭試問は含まない）及び出願書類を総合して、電気電子工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（C）

科学に対する高い関心、優れた科学的な思考力及び大学における勉学に必要な基礎学力をもち、勉学意欲、明確な志望動機、電気電子工学への関心を有する学生の入学を希望します。面接（出願要件①あるいは②に関する口頭試問を含む）並びに出願書類を総合的に判断して、電気電子工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

情報工学科

■推薦入試（A）

高校で学んだ工業及び商業に関する専門分野の基礎知識，及び大学における勉学に必要な基礎学力をもち，勉学意欲，明確な志望動機，情報工学への関心を有する学生の入学を希望します。特に面接（数学，英語の基礎学力に関する口頭試問を含む）並びに出願書類を総合的に判断して，情報工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（B）

大学における勉学に必要な基礎学力をもち，勉学意欲，明確な志望動機，情報工学への関心を有する学生の入学を希望します。面接（基礎学力に関する口頭試問は含まない），大学入試センター試験（5教科7科目）の成績及び出願書類を総合的に判断して，情報工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（C）

科学に対する高い関心，優れた科学的な思考力及び大学における勉学に必要な基礎学力をもち，勉学意欲，明確な志望動機，情報工学への関心を有する学生の入学を希望します。面接（数学，英語に関する基礎的な学力を問う口頭試問と，出願要件①あるいは②に関する口頭試問を含む）並びに出願書類を総合的に判断して，情報工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

福祉人間工学科

■推薦入試（A）

高校で学んだ工業に関する専門分野の基礎知識，及び大学における勉学に必要な基礎学力をもち，勉学意欲，明確な志望動機，福祉人間工学への関心を有する学生の入学を希望します。面接（数学，英語の基礎学力に関する口頭試問を含む）及び出願書類を総合して，福祉人間工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（B）

大学における勉学に必要な基礎学力をもち，勉学意欲，明確な志望動機，福祉人間工学への関心を有する学生の入学を希望します。面接（基礎学力に関する口頭試問は含まない），大学入試センター試験（5教科7科目）の成績及び出願書類を総合して，福祉人間工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（C）

科学に対する高い関心，優れた科学的な思考力及び大学における勉学に必要な基礎学力をもち，勉学意欲，明確な志望動機，福祉人間工学への関心を有する学生の入学を希望します。面接（数学，英語に関する基礎的な学力を問う口頭試問と，出願要件①あるいは②に関する口頭試問を含む）並びに出願書類を総合的に判断して，福祉人間工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

化学システム工学科

■推薦入試（A）

英語と化学に優れた学力を備え、さらに化学及びその関連分野に強い興味と勉学意欲を有し、大学で自己の能力を発展させたいという意志をもつ学生の入学を希望します。面接（英語及び化学に関する口頭試問を含む）並びに出願書類によって、化学を学ぶ意欲と能力並びに人物を総合的に評価します。

■推薦入試（B）

化学に優れた学力を備え、さらに化学及びその関連分野に強い興味と勉学意欲を有し、大学で自己の能力を発展させたいという意志をもつ学生の入学を希望します。面接（基礎学力に関する口頭試問は含まない）と出願書類から人物を判断し、大学入試センター試験（5教科7科目）の結果から学力を判断して、化学を学ぶ意欲と能力を総合的に評価します。

■推薦入試（C）

科学に対する高い関心、優れた科学的な思考力及び大学における勉学に必要な基礎学力をもち、勉学意欲、明確な志望動機、化学及びその関連分野に強い関心を有する学生の入学を希望します。面接（化学、英語に関する基礎的な学力を問う口頭試問と、出願要件①あるいは②に関する口頭試問を含む）並びに出願書類によって、化学を学ぶ意欲と能力並びに人物を総合的に評価します。

建設学科

■推薦入試（A）

高校で学んだ専門科目及び基礎科目に関する知識を有し、かつ大学に入って学ぶ専門分野に興味と深い理解度を持った、学力優秀で勉学意欲に富む人を選抜します。

面接において、社会基盤工学または建築学への関心と勉学意欲とを評価し、加えて専門科目に関する試問を課して理解度を評価します。

■推薦入試（B）

高等学校卒業レベルの基礎学力を持つとともに、大学に入って学ぶ専門分野に興味と深い理解度を持った、学力優秀で勉学意欲に富む人を選抜します。面接（基礎学力に関する口頭試問は含まない）と大学入試センター試験（5教科7科目）及び出願書類を総合的に判断して、建設分野への関心と勉学意欲とを評価します。

■推薦入試（C）

科学に対する高い関心、優れた科学的な思考力及び大学における勉学に必要な基礎学力をもち、勉学意欲、明確な志望動機、建設学への関心を有する学生の入学を希望します。面接（出願要件①あるいは②に関する口頭試問を含む）並びに出願書類を総合的に判断して、建設学を学ぶ意欲と能力を評価します。

機能材料工学科

■推薦入試（A）

高校で学んだ専門分野の基礎知識，及び大学における勉学に必要な基礎学力をもち，勉学意欲，明確な志望動機，機能材料工学への関心を有する学生の入学を希望します。面接（数学，英語の基礎学力に関する口頭試問を含む）及び出願書類を総合して，機能材料工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（B）

大学における勉学に必要な基礎学力をもち，勉学意欲，明確な志望動機，機能材料工学への関心を有する学生の入学を希望します。面接（基礎学力に関する口頭試問は含まない），大学入試センター試験（5教科7科目）の成績及び出願書類を総合して，機能材料工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

■推薦入試（C）

科学に対する高い関心，優れた科学的な思考力及び大学における勉学に必要な基礎学力をもち，勉学意欲，明確な志望動機，機能材料工学への関心を有する学生の入学を希望します。面接（数学，英語に関する基礎的な学力を問う口頭試問と，出願要件①あるいは②に関する口頭試問を含む）並びに出願書類を総合的に判断して，機能材料工学を学ぶ意欲と能力を評価します。

平成28年度新潟大学工学部推薦入試学生の募集については、次のとおり行います。

Ⅱ. 実施学科，入試種別及び募集人員

学 科	入 試 種 別	募集人員
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	推 薦 入 試 (A)	3人
	推 薦 入 試 (B)	17人
	推 薦 入 試 (C)	若干人
電 気 電 子 工 学 科	推 薦 入 試 (A)	5人
	推 薦 入 試 (B)	15人
	推 薦 入 試 (C)	若干人
情 報 工 学 科	推 薦 入 試 (A)	3人
	推 薦 入 試 (B)	11人
	推 薦 入 試 (C)	若干人
福 祉 人 間 工 学 科	推 薦 入 試 (A)	3人
	推 薦 入 試 (B)	10人
	推 薦 入 試 (C)	若干人
化 学 シ ス テ ム 工 学 科	推 薦 入 試 (A)	2人
	推 薦 入 試 (B)	10人
	推 薦 入 試 (C)	若干人
建 設 学 科	推 薦 入 試 (A)	4人
	推 薦 入 試 (B)	6人
	推 薦 入 試 (C)	若干人
機 能 材 料 工 学 科	推 薦 入 試 (A)	2人
	推 薦 入 試 (B)	6人
	推 薦 入 試 (C)	若干人

備考 推薦入試において選抜の結果、欠員が生じた場合は、その欠員分を当該学科の一般入試における前期日程の募集人員に加えます。

Ⅲ. 出願要件

・ 共通事項

平成28年3月高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）卒業見込みの者（（注）の①，②，③及び④を含む。）で，次の各号に該当し，当該学校長が責任をもって推薦するもの

1. 人物・学業成績がともに優れ，工学の学習に熱意のある者
2. 合格した場合は，入学することを確約できる者

（注）① 平成27年度中に高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者

② 平成27年度中に特別支援学校の高等部を卒業した者及び卒業見込みの者

③ 平成27年度中に高等専門学校第3年次を修了した者及び修了見込みの者

④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設を平成27年度中に修了した者及び修了見込みの者

工学部推薦入試は，（A），（B），（C）に分かれており，それぞれの出願要件が異なります。以下を参照してください。なお，工学部推薦入試（A），（B），（C）間の併願はできません。

・ 推薦入試（A）

学 科	推薦入試の対象となる高等学校の範囲等（出願要件）
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	工業に関する学科及び総合学科（注1）
電 気 電 子 工 学 科	工業に関する学科及び総合学科（注1）
情 報 工 学 科	工業及び商業に関する学科並びに総合学科（注2）
福 祉 人 間 工 学 科	工業に関する学科及び総合学科（注1）
化 学 シ ス テ ム 工 学 科	工業，農業及び水産に関する学科並びに総合学科（注3）
建 設 学 科	工業に関する学科及び総合学科（注1）
機 能 材 料 工 学 科	工業，農業及び水産に関する学科並びに総合学科（注3）

（注1）総合学科は，工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者を対象とします。

（注2）総合学科は，工業及び商業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者を対象とします。

（注3）総合学科は，工業，農業及び水産に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者を対象とします。

・推薦入試（B）

学 科	推薦入試の対象となる高等学校の範囲等（出願要件）
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	<p style="text-align: center;">高等学校の普通科等 （推薦入試（A）の出願要件に該当しない学科）</p>
電 気 電 子 工 学 科	
情 報 工 学 科	
福 祉 人 間 工 学 科	
化 学 シ ス テ ム 工 学 科	
建 設 学 科	
機 能 材 料 工 学 科	

・推薦入試（C）

学 科	推薦入試の対象となる高等学校の範囲等（出願要件）
機 械 シ ス テ ム 工 学 科	<p>出願要件① SSHの指定を受けている高等学校または中等教育学校において、大学、官公庁及び企業等の研究機関において研究または実験を行ったことのある者 （SSHカリキュラムを受講した者） [出願要件に該当していることを証明する客観的資料を添付すること。]</p>
電 気 電 子 工 学 科	
情 報 工 学 科	
福 祉 人 間 工 学 科	<p>出願要件② 科学系コンテストなどで入賞し、その成果が高く評価されている者 （科学系コンテストの内容は9ページの別表を参照） [出願要件に該当していることを証明する客観的資料を添付すること。]</p>
化 学 シ ス テ ム 工 学 科	
建 設 学 科	
機 能 材 料 工 学 科	

別表 推薦入試（C）の科学系コンテストについて

学 科	出願要件の一つとなる具体的な科学系コンテスト名と認定基準 (過去3年間に以下の基準を満たした者)
機械システム工学科	日本数学オリンピック予選Aランク者
	全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
電気電子工学科	日本数学オリンピック予選Aランク者
	全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者 日本情報オリンピック予選通過者
情報工学科	日本情報オリンピック本選Aランク者
福祉人間工学科	日本数学オリンピック予選Aランク者
	全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
	日本情報オリンピック予選通過者 日本生物学オリンピック予選通過者
化学システム工学科	化学グランプリ二次選考入賞者
建設学科	日本数学オリンピック予選Aランク者
	全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
	化学グランプリ一次選考通過者
	日本情報オリンピック予選通過者
	日本生物学オリンピック予選通過者
	日本地学オリンピック予選通過者 科学地理オリンピック日本選手権一次選抜通過者
機能材料工学科	全国物理コンテスト「物理チャレンジ」第1チャレンジ通過者
	化学グランプリ一次選考通過者

IV. 出願手続

1 出願期間

平成27年11月2日（月）から11月5日（木）まで（必着）

出願書類等の提出は、郵送（書留速達）に限ります。

なお、郵便事情を考慮し、余裕をもって発送してください。

2 出願書類

・推薦入試（A）

出願書類等	摘 要
①推薦入試 志 願 票 受 験 票 写 真 票	<ul style="list-style-type: none">・本要項に添付の用紙を使用してください。・写真は、縦4cm×横3cm、上半身、脱帽、正面向きのもので、出願前3ヶ月以内に撮影したものとし、受験票及び写真票の所定欄にはってください。 ただし、受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影してください。 なお、「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を所定欄に確実にはってください。（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを、必ず確認してください。）
②推 薦 書	<ul style="list-style-type: none">・本要項に添付の用紙により推薦学校長が作成し、厳封したもの。
③調 査 書	<ul style="list-style-type: none">・文部科学省所定の様式により推薦学校長が作成し、厳封したもの。・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業見込証明書、成績通信簿その他志願者が提出できる書類をもって代えることができます。本人が被災等によりこれらの書類をも整えられない場合は、出身学校等を所管する教育委員会、知事又は出身学校長が作成したこれに関する証明書を提出してください。また、本人に対して面接等を行うことがあります。
④検 定 料 17,000円	<ul style="list-style-type: none">・本要項に添付の「振込依頼書（新潟大学工学部推薦入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず金融機関収納印欄に押印を受けてください。 なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。② 検定料の振込みは、平成27年10月22日（木）から11月5日（木）[15時00分]までの期間内に必ず行ってください。（※土・日曜日、祝日の振込みはできません。）③ A T M（現金自動預払機）での振込みはできません。

⑤検定料納付証明書 (新潟大学提出用)	・金融機関窓口から返却された「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」を志願票の所定欄にはってください。(※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。)
⑥返信用封筒 (4枚)	<ul style="list-style-type: none"> ・本要項に添付の返信用封筒4枚を提出してください。 ① 「推薦入試受験票等在中」封筒：志願者本人の郵便番号、住所及び氏名を記入して郵便切手372円分をはってください。 ② 「選考結果通知書在中」封筒：志願者本人の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。郵便切手をはる必要はありません。 ③ 「推薦学校長あて通知書在中」封筒：出身学校の郵便番号、所在地及び学校名を記入してください。郵便切手をはる必要はありません。 ④ 「入学手続案内等在中」封筒：志願者本人の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。郵便切手をはる必要はありません。

・推薦入試(B)

出願書類等	摘 要
①推薦入試 志願票 受験票 写真票	<ul style="list-style-type: none"> ・本要項に添付の用紙を使用してください。 ・写真は、縦4cm×横3cm、上半身、脱帽、正面向きのもので、出願前3ヶ月以内に撮影したものとし、受験票及び写真票の所定欄にはってください。 ただし、受験時に眼鏡を使用する者は、眼鏡をかけて撮影してください。 なお、「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」を所定欄に確実にはってください。(※取扱金融機関の収納印が押印されていることを、必ず確認してください。) ・出願時において、大学入試センターから送付される「平成28センター試験成績請求票(推薦 国公立推薦入試用)」をはらないで提出することになりますが、当該「成績請求票」は到着後、速やかに同封の封筒を利用して工学部学務係あてに郵送してください。 (「成績請求票」の裏面には、①推薦入試の受験番号(8桁)、②氏名、③高校名を記入してください。) ※「成績請求票」送付用封筒は、出願時に提出しないでください。
②推 薦 書	・本要項に添付の用紙により推薦学校長が作成し、厳封したもの。
③調 査 書	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省所定の様式により推薦学校長が作成し、厳封したもの。 ・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業見込証明書、成績通信簿その他志願者が提出できる書類をもって代えることができます。本人が被災等によりこれらの書類をも整えられない場合は、出身学校等を所管する教育委員会、知事又は出身学校長が作成したこれに関する証明書を提出してください。また、本人に対して面接等を行うことがあります。

<p>④検 定 料 17,000円</p>	<p>・本要項に添付の「振込依頼書（新潟大学工学部推薦入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）」に必要事項を記入し，以下の点に留意のうえ，切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し，窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際，必ず金融機関収納印欄に押印を受けてください。</p> <p>なお，振込手数料は，志願者本人の負担となります。</p> <p>① 依頼人氏名欄は，必ず志願者本人の氏名を記入してください。</p> <p>② 検定料の振込みは，平成27年10月22日（木）から11月5日（木）[15時00分]までの期間内に必ず行ってください。（※土・日曜日，祝日の振込みはできません。）</p> <p>③ A T M（現金自動預払機）での振込みはできません。</p>
<p>⑤検定料納付証明書 （新潟大学提出用）</p>	<p>・金融機関窓口から返却された「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を志願票の所定欄にはってください。（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）</p>
<p>⑥返 信 用 封 筒 （4枚）</p>	<p>・本要項に添付の返信用封筒4枚を提出してください。</p> <p>① 「推薦入試受験票等在中」封筒：志願者本人の郵便番号，住所及び氏名を記入して郵便切手372円分をはってください。</p> <p>② 「選考結果通知書在中」封筒：志願者本人の郵便番号，住所及び氏名を記入してください。郵便切手をはる必要はありません。</p> <p>③ 「推薦学校長あて通知書在中」封筒：出身学校の郵便番号，所在地及び学校名を記入してください。郵便切手をはる必要はありません。</p> <p>④ 「入学手続案内等在中」封筒：志願者本人の郵便番号，住所及び氏名を記入してください。郵便切手をはる必要はありません。</p>

・ 推薦入試（C）

出願書類等	摘 要
<p>①推薦入試 志 願 票 受 験 票 写 真 票</p>	<p>・本要項に添付の用紙を使用してください。</p> <p>・写真は，縦4cm×横3cm，上半身，脱帽，正面向きのもので，出願前3ヶ月以内に撮影したものとし，受験票及び写真票の所定欄にはってください。</p> <p>ただし，受験時に眼鏡を使用する者は，眼鏡をかけて撮影してください。</p> <p>なお，「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を所定欄に確実にはってください。（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを，必ず確認してください。）</p>
<p>②推 薦 書</p>	<p>・本要項に添付の用紙により推薦学校長が作成し，厳封したもの。</p>

③調査書	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省所定の様式により推薦学校長が作成し、厳封したもの。 ・被災その他の事情により調査書が得られない場合には、卒業見込証明書、成績通信簿その他志願者が提出できる書類をもって代えることができます。本人が被災等によりこれらの書類をも整えられない場合は、出身学校等を所管する教育委員会、知事又は出身学校長が作成したこれに関する証明書を提出してください。また、本人に対して面接等を行うことがあります。
[出願要件①で出願する者] ④活動報告書	<ul style="list-style-type: none"> ・出願要件①で出願する者は、出願要件に該当していることを証明する客観的資料として、本要項に添付の用紙により、主要な活動の経歴、成果等を志願者が自筆により作成し、記載事項確認者が確認したものを提出してください。記載事項確認者は推薦学校長としてください。
[出願要件②で出願する者] ⑤科学系コンテストの成績証明書等	<ul style="list-style-type: none"> ・出願要件②で出願する者は、出願要件に該当していることを証明する客観的資料として、別表（9ページ）の科学系コンテストの成績が証明できる書類（証明書等）を提出してください。（写しで可）
⑥検定料 17,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・本要項に添付の「振込依頼書（新潟大学工学部推薦入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行を除く。）に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず金融機関収納印欄に押印を受けてください。 なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。 ① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。 ② 検定料の振込みは、平成27年10月22日（木）から11月5日（木）[15時00分]までの期間内に必ず行ってください。（※土・日曜日、祝日の振込みはできません。） ③ ATM（現金自動預払機）での振込みはできません。
⑦検定料納付証明書 （新潟大学提出用）	<ul style="list-style-type: none"> ・金融機関窓口から返却された「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を志願票の所定欄にはってください。（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）
⑧返信用封筒 （4枚）	<ul style="list-style-type: none"> ・本要項に添付の返信用封筒4枚を提出してください。 ① 「推薦入試受験票等在中」封筒：志願者本人の郵便番号、住所及び氏名を記入して郵便切手372円分をはってください。 ② 「選考結果通知書在中」封筒：志願者本人の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。郵便切手をはる必要はありません。 ③ 「推薦学校長あて通知書在中」封筒：出身学校の郵便番号、所在地及び学校名を記入してください。郵便切手をはる必要はありません。 ④ 「入学手続案内等在中」封筒：志願者本人の郵便番号、住所及び氏名を記入してください。郵便切手をはる必要はありません。

3 出願書類提出先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学工学部学務係
電話 (025) 262-6709

4 出願書類の作成及び提出上の注意事項

- (1) 提出書類に記載の氏名は、戸籍（外国籍を有する者は市町村が発行する住民票の写し）に記載の文字を使用してください。
- (2) 提出書類に、記載事項の記入漏れや、その他不備がある場合は、出願書類を受理しないことがあります。
- (3) 願書提出後は、書類の記載事項の変更は認めません。なお、出願書類は返還しません。また、既納の検定料（17,000円）は、返還しません。ただし、検定料振込み後、出願期間内に提出しなかった場合は、当該検定料（17,000円）を返還します。詳細は、新潟大学ホームページ (<http://www.niigata-u.ac.jp/>) の「入学を希望する皆さんへ」→「納付済検定料返還手続」を参照してください。なお、納付済検定料返還請求書の郵送を希望される方は、財務部資産管理課支出係まで連絡してください。

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学財務部資産管理課支出係
電話 (025) 262-6054

- (4) 推薦入試の出願は、1つの大学・学部に限りますが、推薦入試（A）又は推薦入試（C）で不合格となった場合は、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの、合計2つの大学・学部にも出願できます。また、推薦入試（B）においては、不合格となった場合に備えて、「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つの、合計2つの大学・学部にも出願できます。なお、本学の一般入試に出願を希望する者は、学生募集要項を請求（新潟大学ホームページ (<http://www.niigata-u.ac.jp/>) の「入学を希望する皆さんへ」→「資料請求」から請求してください。）の上、平成28年1月25日(月)から2月3日(水)の間に改めて出願してください。

V. 選抜方法等

1 選抜方法

・推薦入試（A）

調査書等の内容及び口頭試問を含む面接での評価を総合して行います。

・推薦入試（B）

大学入試センター試験の成績，調査書等の内容及び口頭試問を含まない面接での評価を総合して行います。

・推薦入試（C）

調査書等の内容及び口頭試問を含む面接での評価を総合して行います。

2 配点

入試種別ごとの配点は，次のとおりです。

・推薦入試（A）

学 科	面 接	書類審査	合 計
全 学 科	140	60	200

・推薦入試（B）

学 科	大学入試センター試験						本学が実施する試験等		合 計
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	書類審査	
機械システム工学科	100	(100)	(100)	200	200	200	100	100	1000
電気電子工学科	100	(100)	(100)	200	200	200	200	200	1200
情報工学科	100	(100)	(100)	200	200	200	200	200	1200
福祉人間工学科	100	(100)	(100)	200	200	200	140	60	1000
化学システム工学科	100	(50)	(50)	200	250	200	100	100	1000
建設学 科	100	(100)	(100)	200	200	200	100	200	1100
機能材料工学科	100	(100)	(100)	200	200	200	140	60	1000

大学入試センター試験の配点の（ ）は，選択科目の配点を示します。

推薦入試（B）で課す大学入試センター試験の教科・科目については下記のとおりです。

学 科	大学入試センター試験の利用教科・科目名	
機械システム工学科	国 語 数 学 理 科 外国語 地歴・ 公民	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 [5教科7科目]
電気電子工学科	国 語 数 学 理 科 外国語 地歴・ 公民	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 [5教科7科目]
情報工学科	国 語 数 学 理 科 外国語 地歴・ 公民	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 [5教科7科目]
福祉人間工学科	国 語 数 学 理 科 外国語 地歴・ 公民	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B, 簿・会, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 [5教科7科目]
化学システム工学科	国 語 数 学 理 科 外国語 地歴・ 公民	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B 必須 化 必須 物, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 [5教科7科目]
建設学 科	国 語 数 学 理 科 外国語 地歴・ 公民	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B 必須 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 [5教科7科目]
機能材料工学科	国 語 数 学 理 科 外国語 地歴・ 公民	国語 必須 数Ⅰ・数A 必須 数Ⅱ・数B 必須 物, 化, 生から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経から1 [5教科7科目]

（注1）大学入試センター試験の成績の取扱い

『「地理歴史」,「公民」』における2科目受験者の成績のうち,1科目の成績を用いる場合は,

2科目受験者が最初に解答した科目（第1解答科目）の成績とします。

(注2) 大学入試センター試験で利用制限のある教科・科目名について

「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の専門教育等を主とする学科等において、専門教育に関する当該科目の履修者に限ります。

なお、旧教育課程履修者に限り、「工業数理基礎」の選択を認めます。詳細は新潟大学ホームページ (<http://www.niigata-u.ac.jp/>) をご確認ください。

(注3) 外国語（英語）におけるリスニングテストの取扱いについて

大学入試センター試験における「外国語（英語）」については、リスニングテストを含みます。

・推薦入試（C）

学 科	面 接	書類審査	合 計
機械システム工学科	100	100	200
電気電子工学科	140	60	200
情報工学科	140	60	200
福祉人間工学科	100	100	200
化学システム工学科	140	60	200
建設学 科	140	60	200
機能材料工学科	140	60	200

3 口頭試問の内容

・推薦入試（A）

学 科	口頭試問の内容
機械システム工学科	数学, 英語, 工業（設計製図）に関する基礎的な学力を問う試問
電気電子工学科	英語, 工業（電気基礎）に関する基礎的な学力を問う試問
情報工学科	数学, 英語に関する基礎的な学力を問う試問
福祉人間工学科	数学, 英語に関する基礎的な学力を問う試問
化学システム工学科	化学, 英語に関する基礎的な学力を問う試問
建設学 科	工業（土木または建築）に関する基礎的な学力を問う試問
機能材料工学科	数学, 英語に関する基礎的な学力を問う試問

・推薦入試（C）

学 科	口頭試問の内容
機械システム工学科	数学に関する基礎的な学力を問う試問と、出願要件①あるいは②に関する試問
電気電子工学科	出願要件①あるいは②に関する試問
情報工学科	数学、英語に関する基礎的な学力を問う試問と、出願要件①あるいは②に関する試問
福祉人間工学科	数学、英語に関する基礎的な学力を問う試問と、出願要件①あるいは②に関する試問
化学システム工学科	化学、英語に関する基礎的な学力を問う試問と、出願要件①あるいは②に関する試問
建設学科	出願要件①あるいは②に関する試問
機能材料工学科	数学、英語に関する基礎的な学力を問う試問と、出願要件①あるいは②に関する試問

4 選抜期日等

年 月 日（曜日）	区 分	時 間
平成27年11月28日（土）	面 接	午前9時00分～
平成27年11月29日（日）		

（注）面接はいずれかの1日で行いますので、各受験者の面接日時については、11月11日に発送する「受験案内」により通知します。

5 試験場

新潟大学工学部（新潟市西区五十嵐2の町8050番地）

6 受験に際しての注意事項

(1) 「受験票」及び「受験案内」の発送予定日は、11月11日(木)です。

なお、「受験票」は、入学手続の際にも必要となりますので、紛失、汚損等のないよう特に注意してください。

(2) 時計の使用は、計時機能だけのものに限りません。アラームは使用できません。

(3) その他、受験に際しての注意事項等については、受験票送付の際に同封する「受験案内」を熟読してください。

(4) 不正行為

① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。

- (a) 志願票，受験票，写真票，解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票，写真票に本人以外の写真をはることなど。）をすること。
- (b) カンニング（カンニングペーパー・参考書等を見ること，他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- (c) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- (d) 試験時間中に，スマートフォンや携帯電話，電子辞書，ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。

② 上記①以外にも，次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず，不正行為と認定された場合の取扱いは，上記①と同様です。

- (a) 試験時間中に，スマートフォン等の電子機器類等をかばん等にしまわず，身に付けていたり手に持っていること。
- (b) 試験時間中にスマートフォンや携帯電話，時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど，試験の進行に多大な影響を与えること。
- (c) 試験に関することについて，自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- (d) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (e) 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- (f) その他，試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

7 障がい等を有する入学志願者の事前相談

障がい等を有する入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、次により本学と相談してください。

(1) 相談の期限

平成27年10月22日(木)までとします。

ただし、事前の準備を必要とする場合がありますので、できる限り早い時期に相談してください。

なお、相談の期限後に、配慮が必要となった者は、至急連絡先に問い合わせてください。

(2) 相談の方法

申請書(所定用紙)を請求の上、健康診断書等必要書類を添付し、提出してください。

必要な場合は、本学において志願者及び関係者等と面談を行います。

(3) 連絡先・申請書請求先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学工学部学務係
電話 (025) 262-6709

VI. 選考結果の通知及び合格者の発表等

・推薦入試(A)及び(C)

平成27年12月11日(金)午前10時に、新潟大学工学部学生玄関前において、合格者の受験番号を、掲示により発表します。

なお、受験者及び推薦学校長には選考結果を郵便で送付します。

・推薦入試(B)

平成28年2月8日(月)午前10時に、新潟大学工学部学生玄関前において、合格者の受験番号を、掲示により発表します。

なお、受験者及び推薦学校長には選考結果を郵便で送付します。

・共通事項

(1) 合格発表後(正午頃)、合格者の受験番号を本学ホームページの「入学を希望する皆さんへ」→「合格発表」に掲載します。

新潟大学ホームページ <http://www.niigata-u.ac.jp/>

(注1) ホームページへの掲載は、情報提供の一環として行うものですので、必ず選考結果及び合格通知書で確認してください。

(注2) 合格発表日のホームページへのアクセスについては、回線が大変混み合い、接続に時間がかかることが予想されますので、あらかじめご了承ください。

電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

(2) 推薦入試合格者は、他の国公立大学・学部(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除き、本学を含む。以下同じ。)を受験しても、入学許可は得られません。ただし、

特別の事情があり、当該推薦学校長から「推薦入試辞退願」が提出され、平成28年2月17日(水)までに本学が入学辞退を許可した場合は、この限りではありません。

※公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaikyo.org/nyushi>) 参照

Ⅶ. 入学手続等

(1) 入学手続の概要は、次のとおりです。その詳細については、合格者に別途通知します。

なお、合格者が平成28年2月17日(水)までに入学手続を完了しないときは、工学部推薦入試の合格者としての権利を消失します。この場合、他の国公立大学を受験しても、入学許可は得られません。

ただし20ページⅥの(2)ただし書に該当する者を除きます。

① 入学手続期間及び手続方法

平成28年2月16日(火)から2月17日(水)まで(郵送又は持参。)

② 入学料

282,000円〔予定額〕

(注) 入学料等、10万円を超える現金を振込む際には、金融機関の窓口において、振込を行う者の本人確認書類(運転免許証、健康保険証、旅券(パスポート)、在留カード等)の提示が必要となります。

本人確認書類の提示がない場合には、現金による振込みができませんので注意してください。

③ 提出書類等

2月上旬頃に送付する「入学手続案内」で通知します。

(2) 出願資格で所定の要件を満たす見込みで受験した合格者が、平成28年3月31日までに所定の要件を満たすことができなかった場合は、入学を許可しません。

(3) 授業料

年額 535,800円(前期分 267,900円, 後期分 267,900円)〔予定額〕

(注1) 授業料は、入学後、口座引き落としにより納付していただく予定です。

(注2) 授業料の納付方法の詳細については、合格者に別途通知します。

(注3) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

入学料及び授業料については、免除及び徴収猶予の制度があります。詳細は、新潟大学ホームページ (<http://www.niigata-u.ac.jp/>) の「入学を希望する皆さんへ」→「入学料・授業料免除、徴収猶予制度について」又は合格者に送付する「入学手続案内」を参照してください。

Ⅷ. 入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

- (1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、
①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、分析及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査・研究、分析を行うために利用します。
- (3) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は、入学者のみ入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等に関する業務を行うために利用します。
- なお、個人情報のうち、合格者の氏名及び住所については、本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。

Ⅸ. 入試情報の開示

本学では、入試情報の開示を行います。開示を希望する者は、下記あてに開示される事項及び開示請求方法等について問い合わせてください。

問い合わせ先 新潟大学学務部入試課 電話 (025) 262-6079

Ⅹ. 学生寮について

本学の学生寄宿舍（学生寮）入寮者の募集案内については、平成28年2月上旬頃に合格者宛に送付する「入学手続案内」でお知らせします。

なお、学生寮については、新潟大学ホームページ (<http://www.niigata-u.ac.jp/>) の「入学を希望する皆さんへ」→「学生寮・アパート事情」に掲載されています。

大学入試センター試験受験教科・科目 自己確認票（推薦入試（B））

あなたが受験する大学入試センター試験の教科・科目名の下の口に○を記してください。

受験することを課した教科・科目を受験しない者は、本学部推薦入試（B）を受験できないので、本要項 16 ページの推薦入試（B）で課す大学入試センター試験の教科・科目を志願者本人が十分確認してください。

なお、この表は提出する必要はありません。

大学入試センター試験教科・科目	国語		地理歴史			公民		数学②		理科			外国語											
	国語	英語	世界史 B	日本史 B	地理 B	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ・数学 A	数学Ⅱ・数学 B	簿記・会計	情報関係基礎	工業数理基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語		
学部・入試種別																								
工学部・推薦入試（B）																								

(注) 大学入試センター試験の「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校の専門教育等とするとする学科等において、専門教育に関する当該科目の履修者に限ります。なお、旧教育課程履修者に限り、「工業数理基礎」の選択を認めます。

平成27年度 工学部推薦入試実施状況

区 分	推薦入試の対象となる高等学校の範囲	募集人員	志願者数	合格者数
機械システム工学科	高等学校の普通科等（下記以外の学科）	17人	40	19
	工業に関する学科及び総合学科	5人	5	3
電気電子工学科	高等学校の普通科等（下記以外の学科）	15人	20	15
	工業に関する学科及び総合学科	5人	9	6
情報工学科	高等学校の普通科等（下記以外の学科）	13人	30	14
	工業及び商業に関する学科並びに総合学科	4人	6	3
福祉人間工学科	高等学校の普通科等（下記以外の学科）	10人	24	15
	工業に関する学科及び総合学科	3人	6	3
化学システム工学科	高等学校の普通科等（下記以外の学科）	12人	23	13
	工業，農業及び水産に関する学科並びに総合学科	4人	1	1
建設学科	高等学校の普通科等（下記以外の学科）	6人	22	6
	工業に関する学科及び総合学科	4人	8	4
機能材料工学科	高等学校の普通科等（下記以外の学科）	4人	7	4
	工業，農業及び水産に関する学科並びに総合学科	3人	0	0
計	高等学校の普通科等（下記以外の学科）	77人	166	86
	工業等に関する学科及び総合学科	28人	35	20